



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社ミズホメディー
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 唐川 文成
 (コード番号：4595 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 取締役経理部長兼総務部担当 佐々木 寛
 (電話番号：0942-85-0303)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月10日に公表しました2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年12月期 通期業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年8月10日公表)	14,503	8,532	8,538	6,001	630.11
今回修正予想(B)	16,076	9,817	9,895	6,944	729.14
増減額(B-A)	1,572	1,284	1,356	943	—
増減率(%)	10.8	15.1	15.9	15.7	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	13,137	6,698	6,700	4,816	505.73

(注) 2022年12月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、前期実績(2021年12月期)につきましては、当該会計基準等を適用する前の数値を記載しております。

(2) 修正の理由

第3四半期累計期間の実績につきましては、新型コロナウイルス感染症の第7波は過去最大の規模となり、また、新規感染者数の高止まりが想定以上に継続した影響等により、遺伝子検査キット「スマートジーン SARS-CoV-2」及び各種抗原キットの売上高は計画を上回りました。また、これに伴う売上構成比の変化や稼働率の上昇等により、各利益も大幅に増加しました。

通期業績予想につきましては、第3四半期累計期間の実績を踏まえ、また、直近の実績及び以下の前提条件に基づき算定しております。

現下の第7波の新規感染者数は、下げ止まりの状態から増加傾向に転じており、このまま第8波に繋がる可能性はありますが、当面はこの水準で推移し、年内におきましては、急激な感染拡大とはならないという予想を前提としております。この前提に基づき、第4四半期会計期間の遺伝子検査キット「スマートジーン SARS-CoV-2」の予想出荷数は、流通在庫も考慮した上で、約24万テスト(第3四半期累計期間は計169万テスト)、また、新型コロナウイルスの各種抗原キット(新型コロナウイルス及びインフルエンザウイルス抗原同時検出キット含む)の予想出荷数は、約108万テスト(第3四半期累計期間は計335万テスト)と見込んでおります。

なお、今後の業績推移に応じて、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかに公表いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年12月期配当予想の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年8月10日公表)	—	130.00	190.00
今回修正予想	—	160.00	220.00
当期実績	60.00	—	—
前期実績 (2021年12月期)	50.00	105.00	155.00

(2) 修正の理由

当社は、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定する方針を採っております。この方針に基づき、配当性向30%（年間）を目標として配当を実施するよう努めております。

通期業績予想の修正という結果を踏まえ、2022年12月期の期末配当予想につきましては、1株当たり130円から30円増額し、160円（中間配当金60円と合わせ年間配当金220円、配当性向30.2%）に修正させていただくことといたします。

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上